

こんぶくろ池通信

NPO 法人こんぶくろ池自然の森

Tel: 04-7132-8800

Fax: 04-7132-8806

Email: info@konbukuroike.com

URL: <http://www.konbukuroike.com>

2023 年 2 月

第 106 号

主な予定

柏ネイチャークラ
フト展

2 月 11 日 (土) ~

2 月 19 日 (日)

於: あけぼの山農業
公園 資料館 2 階

「十余二」考

橋本谷 弘司

こんぶくろ池公園の現住所は中十余二です。元をたどると明治 5 年 (1872) に十余二村が立村され、明治 22 年 (1889) の市制・町村制施行時も単独で一村を形成していました。大正 3 年 (1914) には田中村と合併し田中村大字十余二となりました。

昭和 24 年 (1949) には田中村大字十余二のうち、旧陸軍柏飛行場区域を分離して大字中十余二となり、その後の変遷はありますが、平成 2 年 (1990) には柏の葉 1 ~ 6 丁目に分離しています。こんぶくろ池は中十余二のままです。

話は変わりますが、江戸時代から明治政府となり武士が多数失業し、付随する商人等も収入の道が漸たれました。

明治政府は窮民を救済する解決策は農業以外にはなく、小金牧、佐倉牧を明治 2 年の春に廃止して武士等の入植をさせることを決めました。

出資者を得て明治 2 年 5 月 19 日に開墾会社が設立され、新政府は入植者の住まいである農舎を立てるなどの費用を会社に貸し付け監督をするという体制を整えました。

開墾地の地名は初富 (鎌ヶ谷市)、二和・三咲 (船橋市)、豊四季 (柏市)、五香・六実 (松戸市)、七栄 (富里市)、八街 (八街市)、九美上 (佐原市)、十倉 (富里市)、十余一 (白井市)、十余二 (柏市)、十余三 (成田市) の 13 箇所でした。

明治 2 年 10 月 27 日に初富に入植がはじまり、概ね順番通り入植が進み、豊四季は明治 2 年 11 月 17 日、十余二の入植は明治 4 年 2 月 27 日でした。

入植者は会社に返済する経費等の負債が生じ、会社の督促は苛酷、言語に絶するほどであったそうです。さらに労働は厳しく脱落・逃亡者が続出しました。

開墾会社も経営が苦しくなり明治 5 年 5 月に解散し、開墾事業は明治 6 年に千葉県に移管されました。

その後、開墾地の所有権等をめぐり 20 年間におよぶ裁判闘争が起りますが、入植者の所有権は認められませんでした。昭和 22 年 (1947) に GHQ の指揮の下、日本政府によって行われた農地の所有制度の改革により農民の手に戻ります。

十余二の巖島神社内にある高田原開拓碑 (昭和二十九年八月建立) の裏面には、「当地は元小金ヶ原高田台牧也 明治二年より入植開拓

せり初期入植者は自作農たるべき筈の処大隈及び鍋島等の所有となりて八十余年昭和廿二年来の農地改革により初心貫徹すべて入植者の有に帰す」と記されています。

「十余二」は難読地名のひとつで12番目に開墾されたので十余二と命名された程度の知識しか持っていませんでしたが、時代の大きな変革期に翻弄された先人たちの苦労が偲ばれます。

この文章を書くにあたり、相原正義著「柏その歴史・地理」（崙書房出版社）を参考にさせていただきました。



高田原開墾碑



裏面の碑文

2022 年度ナラ枯れ被害木調査報告書 第3報

上田 真佐江

目的：2020 年 8 月に園内でナラ枯れの被害が認められ、2020 年度中に 55 本、2021 年には 43 本の被害木を確認し、柏市によって伐採ならびにカシノナガキクイムシの脱出防止を目的にネットを巻く等の対策がとられた。今回は、2022 年度に新たなカシノナガキクイムシの被害にあったと考えられる木を確認し、今後の対応策検討の材料提示を目的に調査を行った。

調査方法：樹幹下部を中心に穿入孔がある木を被害木とし、以下の項目について調査した。

- 樹種 ●胸高直径（幹周囲長を測定して算出） ●粉フラスの有無
- フラス量の多少 ●2m より上に穿入口があるか ●葉枯れの有無
- 樹液の有無 ●園路に近い木の抽出

実施日：第1報：2022 年 9 月 4 日・9 月 18 日・10 月 2 日・10 月 8

日・10月9日

第2報：11月13日 第1報で未調査であったエリアを調査

第2報（訂正版）：2023年1月8日に位置の再確認を行い、図2に訂正を加えた。

第3報：2023年1月11日 森林総研専門家によるナラ枯れ被害状況の確認に柏市、NPOが立ち合い、新たに3本の被害木が見つかった。

調査範囲：図1の範囲を調査

結果：

- ① 2022年度に実施した調査で、新たに113本の被害木を確認した。
- ② 記録した被害木の樹種はすべてコナラで、約90%の被害木の胸高直径は30cm以上である。
- ③ 第1報に「被害木近くのアカメガシワ2本で樹幹下部を中心に多数の穿入口とフラスも確認されたが、穿入口が多少大きめであり、被害木としてカウントしていない」と記載した。専門家により、これらはアイノキクイムシによる被害を受けた可能性があると示唆された。
- ④ 「ナラ枯れ」はカシノナガキクイムシが媒介するナラ菌により、ミズナラ等が集団的に枯損する伝染病だが、複数の被害木で、カシノナガキクイムシに加え、ヨシブエナガキクイムシによると考えられる穿入口があることが、専門家により示唆された。
- ⑤ 被害木の位置図を図2に示す。その際、図1のエリア1、エリア2に分割して示す。図2は、2020年度および2021年度の被害木の記録の上に、2022年度の被害木の位置を重ねた。
- ⑥ 各調査項目についての結果は、表に示す。
※本通信では表を省略しています。
- ⑦ 昨年度までに被害にあい、ネットが巻かれた複数の被害木が、枯死することなくこの冬にも落葉できている。その例を図3に示す。
- ⑧ 今年度ナラ枯れ被害にあった被害木で、落葉ができずに枯葉を付けたままの被害木が複数ある。そのような状況の被害木では樹液を確認できない。その例を図4に示す。
- ⑨ カシノナガキクイムシの穿入口は樹幹下部に集中するが、つる植物を足掛かりに上部に被害が広がるケースがあると専門家の説明を受けた。例を図5に示す。

図 1 : 2022 年度調査範囲

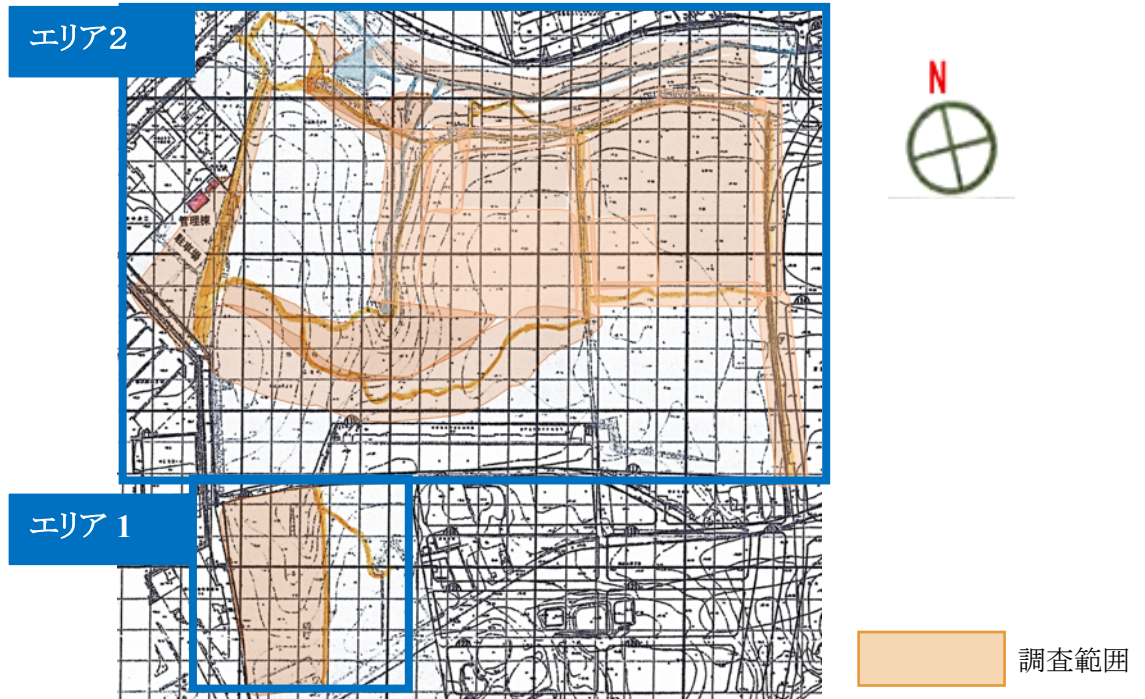
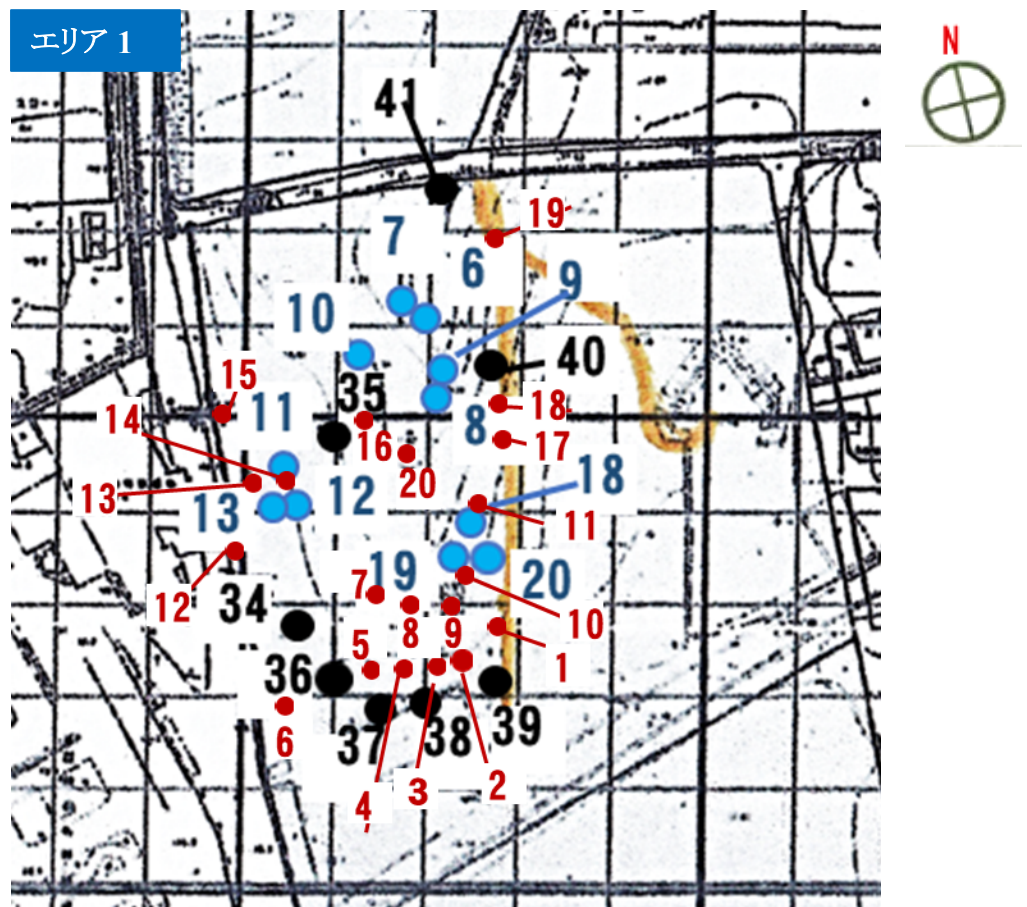


図 2 : 2022 年度（令和 4 年度）ナラ枯れ被害木の位置図



- R2-1～56 : 2020 年度に確認した被害木の位置
- R3-1～43 : 2021 年度に確認した被害木の位置
- R4-1～20 (エリア 1) : 2022 年度に確認した被害木の位置

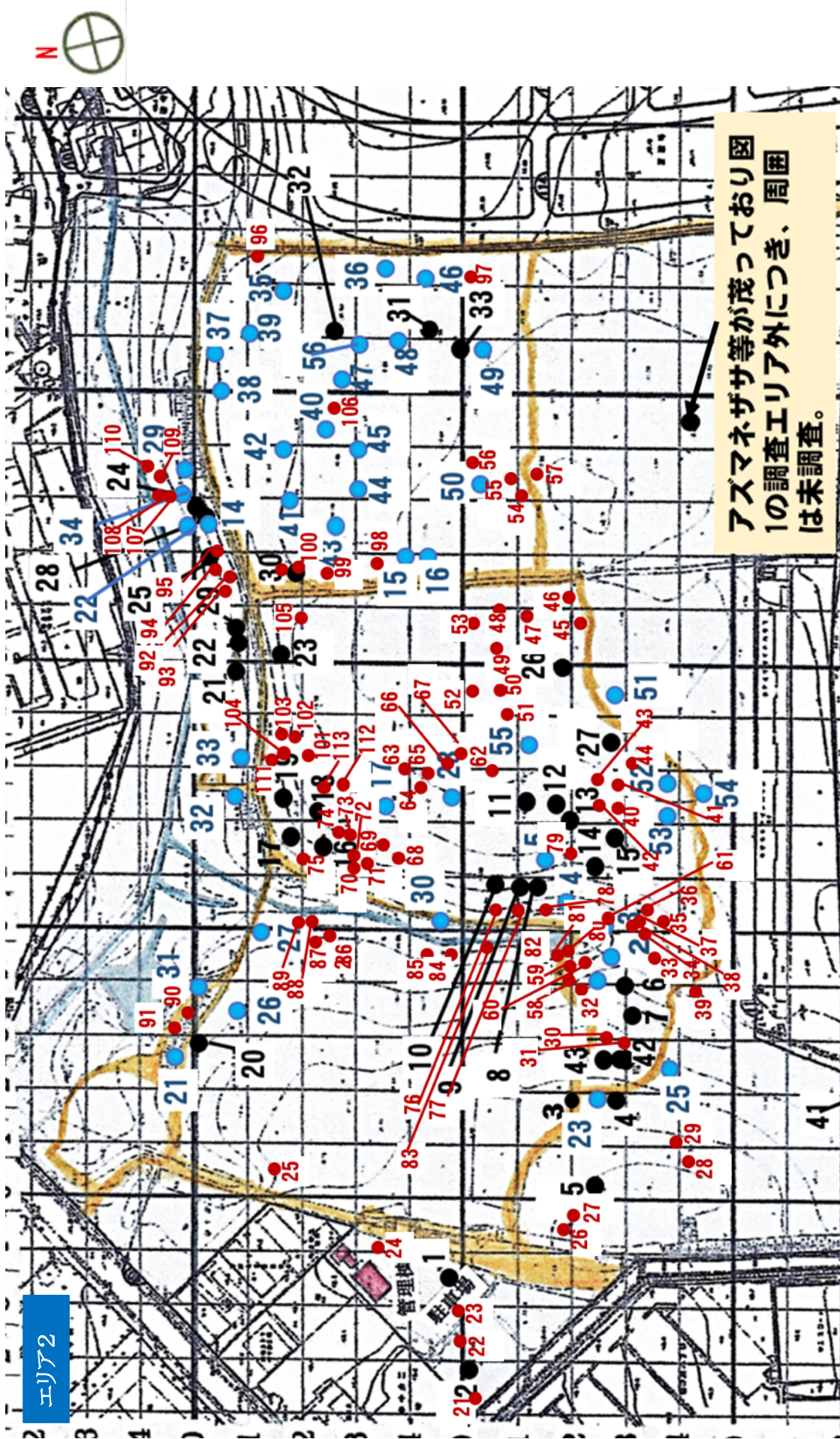
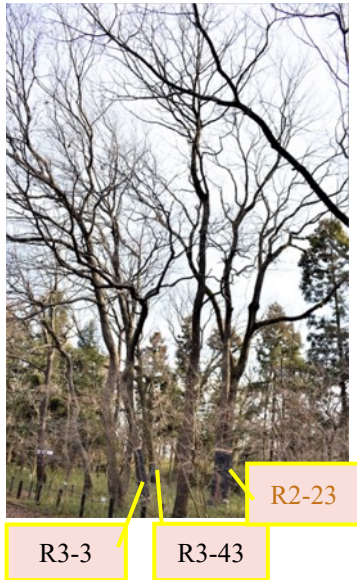


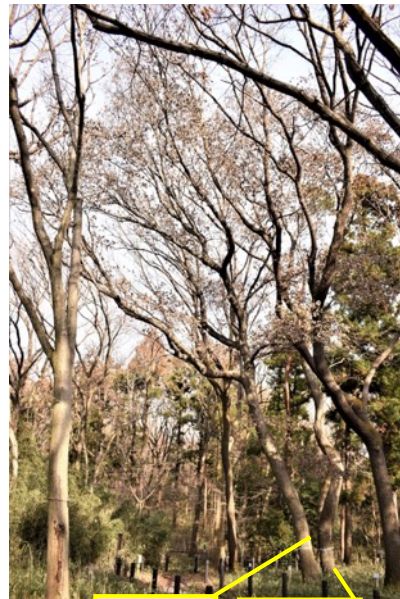
図 3: ネットを巻いて 1～2 年以上経過した被害木が、正常に落葉している例

3 本とも、被害発生確認時に、樹液の分泌を確認。



左:2021 年度被害木 R3-3
中奥:2021 年度被害木 R3-43
右:2020 年度被害木 R2-23
(撮影 2023 年 1 月)

図 4: 落葉できず、枯葉をつけたままの被害木の例
樹液の分泌は確認できず。



左:2022 年度被害木 R4-58
右:2022 年度被害木 R4-59
(撮影 2023 年 1 月)

図 5: ツタがついている被害木の例
約 2 年前に巻かれたネットよりも高い位置に、新たにできた多数の穿入口を観察できる。落葉できていない。



ネットの上に積もった新鮮なフラス →

根元のフラス内にいたカシノナガキクイムシ →



2020 年度被害木 R2-44 (撮影 2023 年 1 月)

新入会員紹介

中川 恵美さん



参加動機：しばらく外に出ない生活をしていましたが、何かできることはないかと探していた時に、こんぶくろ池の体験に参加しました。

貢献できそうなこと：事務、会計、情報処理・パソコン

趣味・好きなこと：刺繍、音楽鑑賞、舞台鑑賞

ひとこと：何ができるかわからないので、いろいろな作業をやらせていただき、少しずつこんぶくろ池のことを知りたいと思っています。よろしくお願いします！！

1 月理事会

(日時) 2023 年 1 月 28 日 (土) 13:00~15:30
 (場所) 管理事務所
 (出席者) 議長 (理事長) : 岡本
 出席理事 : 上田、徳永、萩原、中川 (書記)

1. 審議検討・確認事項

(1) 来年度 (2023 年度) に向けての課題の検討について

- ・ 会員向けアンケートの最終結果情報の共有化及び来年度の契約当番編成についての協議を実施 ⇒ チーフ・手当支給担当は基本的には今年度同様とするが、かめチームの手当支給担当は岡本理事長から徳永理事に変更
- ・ 次年度の役員等執行体制 ⇒ 継続検討
- ・ 来年度のイベント計画
 里山の保全活動体験会の実施時期は本年 3 月実施の活動体験会の状況を踏まえて検討
 夜の昆虫観察会 (7/22 (土))、きのこ観察会 (10 月) 標本展示会 (6 月上旬の金・土・日)、自然観察会 (カシニワ期間中の当日受付ガイド)、ファミリー参加活動体験会 (銘板作りのワークショップ方式案) の方向で継続検討
- ・ 自然調査活動日と里山保全活動日 ⇒ 理事会案としては「毎月第 1 土曜日及び第 3 & 第 4 日曜日の月 3 回全て合同活動日とする」こととし、会員全員の意向確認を行う
- ・ 当番手当支給タイミング ⇒ “6 カ月毎に支給”の方式でスタート。その方式に問題が生じた場合は再検討
- ・ 2022 年度の活動報告会 (実施の有無は未確認) の準備 ⇒ 先ずは調査班内にて検討

(2) 第 3 四半期までの会計報告について

- ・ 第 3 四半期までの会計報告を実施
- ・ 今年度の残予算及びその用途についての協議を実施

(3) 「(千葉学ブックレット) 池物語」増補版制作の進捗状況について

- ・ 1/24 校了、2/17 納品 (予定)

(4) (3 月開催)「里山の保全活動体験会」の準備状況について

- ・ チラシ (表裏あり) 確定 300 部印刷する
- ・ 今後の課題及びスケジュールの確認実施

(5) ナラ枯れ被害木対応状況について

- ・ 1/18 公園緑地課より染谷園芸が発注先に決定した旨の連絡あり
- ・ 作業実施スケジュールについては公園緑地課よりの連絡待ち

(6) 「柏ネイチャークラフト展 2023」(2/11~19) への出展依頼対応について

- ・ 1/19 出展申込書を提出済
- ・ 2/5（日）を目処に出展作品を確定 2/10（金）午後に出展作品持ち込み

（7）2～3月活動計画

- ・ 2/19（日）合同活動日の合同作業としては、草刈り（一号近隣公園アマナ生育地・移植畑）及び草地の整備（ノジトラノオエリア）を行う予定

（8）2月の通信記事

- ・ 掲載記事についての協議を実施

2. 報告事項

（1）その他

- ① 森林総研による当園ナラ枯れ被害状況の現地調査（1/11）
- ② 東大 佐藤先生との水関係打合せ（1/17）
- ③ 2022 年度ナラ枯れ被害木調査報告書（第3報）作成
（1/18）公園緑地課・アドバイザーの先生方にも送付済
- ④ 令和5年度償却資産申告書及び給与所得源泉徴収票等の法廷調書合計表提出（1/24）
- ⑤ NHKテレビ「ひるまえほっと」放映写真の撮影&放映
（1/6 撮影、1/25 放映）
- ⑥ 東大 佐藤先生水質調査採水（随時）

理事会の議事録は管理棟のファイルにて確認できます。

編集後記

今年もあけぼの山農業公園で、柏市里山ネットワーク主催の「第5回 柏ネイチャークラフト展」が開催されます。

柏市内の10以上の団体から作品が寄せられ、NPO こんぶくろ池自然の森の会員有志が作成した多くの作品を展示します。竹製一輪挿し、竹踏み、竹とんぼなどの竹クラフトの他、鳥の巣箱、バードコールなどの木製アクセサリーだけでなく、ヨシで作ったストロー、シュロの葉で作ったバッタ、染物なども出品する予定です。

是非皆さんもご家族と連れだって訪問し、また新たな創作意欲を高めていただければと思います。
（萩原秀夫）

第5回
柏ネイチャークラフト展

あけぼの山農業公園 資料館2階

2月11日(土)～2月19日(日) ※13日を除く

10:00～16:00 ※最終日は15:00終了

◆ネイチャークラフト展示
(期間中常設・観覧無料)

◆枝絵アート 土日限定
枝を切った際に生じる木粉で
オリジナルの絵を作ろう！

【主催】 柏市里山ネットワーク
【協賛】 あけぼの山農業公園
【後援】 柏市、柏市教育委員会、(一財)柏市みどりの基金

【お問合せ】
あけぼの山農業公園
〒277-0825 千葉県柏市布施2005-2
☎04-7133-8877

あけぼの山農業公園

NPO法人ちば里山トラスト

※イベントの内容については、変更・中止となる場合がございます。